

びわこ文化公園都市周辺の主な経緯

時 期	項 目
昭和 50 年	県立東大津高校開校
昭和 50 年 ～ 53 年	上記に関わる土地買収問題・解決
昭和 51 年	国立滋賀医科大学開校 (県人口が 100 万人を超える。)
昭和 53 年	文化ゾーン着工 国立滋賀医科大学付属病院開設
昭和 54 年	「びわこ文化公園都市構想」公表 文化的でうるおいある住環境づくり(文化・福祉医療・学術研究・宅地ゾーン) 滋賀県赤十字血液センター開設
昭和 55 年	滋賀県歯科医師会歯科総合センター開設 県埋蔵文化センター開設
昭和 56 年	住宅ゾーン着工
昭和 57 年	「びわこ文化公園都市基本計画」公表 国民休養県構想の一環として緑豊かな文化の新都市の創造・5つのゾーニング
昭和 58 年	住宅ゾーン入居開始
昭和 59 年	滋賀県薬学総合センター開設 県立障害者総合福祉センター開設 県中央児童相談所開設 県立近代美術館開設
昭和 62 年	夕照庵(茶室)オープン
昭和 63 年	県婦人相談所、志賀婦人寮開設 (京滋バイパス開通)
平成元年	龍谷大学瀬田キャンパス開校
平成 2 年	県立障害者福祉センター開設
平成 3 年	県立草津養護学校開校 第一びわこ学園開設
平成 4 年	精神保健総合センター開設
平成 5 年	長寿社会福祉センター(レイカディアセンター)開設
平成 6 年	立命館大学びわこ・くさつキャンパス開校 (JR南草津駅開設)
平成 10 年	京都大学生態学研究センター開設
平成 12 年	県立アイスアリーナ開設
平成 17 年	(新名神草津田上インターチェンジ開通)
平成 20 年	(県人口が 140 万人を超える。)
整備状況	全体面積 520ha 県計画区域 327ha 整備済面積 215ha(66%) (立命館大学除く) 住宅区域 193ha 未整備面積 112ha